



林もとひとと県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

成田空港

事故想定甘い救難訓練 万一に備え見直しが必要

成田空港を核として千葉県経済の浮揚を図る林幹人県議(成田市選出、3期)は2月定例県議会で一般質問に立ち、成田空港における航空機事故対策をはじめとして観光振興、アクティブ・ラーニング、フラワーフェスティバルを取り上げ、県執行部に施

策を質しました。成田空港では万一の事態に備えて航空機事故消防救難総合訓練が行われていますが、林県議は被害想定が甘く見直しすべきとして、森田知事の考えを聞きました。林県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

0人規模で出動車両は350台と、決して小さくない規模で行われている。ただ、詳細を見ると、例年、非常に似通った状況で行っており、どうもこの被害想定が甘いのではないかと思う。

例えば直近の3年間を例に挙げると、3年前は中型機のボーイング767が着陸した時に脚が折れてしまい、胴体着陸して火が出たという想定だった。昨年は離陸の際、エンジンから火が出て滑走路上で停止、そして去年はジャンボジェット機のボーイング747が着陸の時、強風で左の翼が接触し、左側のエンジンから火が出たという想定だった。

どのパターンも火災が起きていて、機体は無事で、即座に脱出スライドを展開して避難しているという状況下でスタートしている。Fedexの事故は全損事故だった。このような事故が旅客機で起きないとは言いがたい。こういった目の前の危機から目をそらしている、安全対策をやっていると言っているのだろうか。



壇上で一般質問を行う林幹人県議

2月定例県議会一般質問

林議員 今、成田空港は非常に大きく前進しようとしている。3本目の滑走路を建設し、現在の年間処理能力を30万回から50万回に押し上げるといふ計画で

ある。相対的に事故の確率も上がってしまうと考えるべきだ。もちろん、そんなことは絶対に起こらないように二重、三重の安全対策を講じて厳密

な管理のもと、運用されているということには承知しているが、それでも、事故は発生してしまう。2009年3月に発生したFedex 80便の墜落事

故を覚えている人も多いに違いない。強風にあおられ着陸に失敗、滑走路に2度バウンドしながら、火だるまになって炎上し、2人の乗務員の命が失われた。成田空港開港以来の死亡事故ということになってしまった。貨物便だったので人的被害が2人で済んだが、これが万一、旅客便だったとすると、想像するも恐ろしい大惨事となったわけだ。

当然、空港としても手をこまぬいているわけではなく、対策は取っていて、毎年10月に航空機事故消防救難総合訓練を行っている。国交省、成田市そして成田国際空港株式会社の3者が主催者となり、千葉県はオプサーバーとなっている。毎年行われている航空機事故を想定した消防救難訓練の概要を見ると、参加人員は1200人から150

想定を超えた大きな事故が発生したらどうするかを聞いている。訓練をさらに効果的なものにするために、どのようなことを考えているのか。防災危機管理部長 本訓練の主な関係機関で構成する「成田国際空港消防連絡協議会」に、県も構成員となっています。訓練は毎年10月を予定しており、訓練に向けて、関係機関が検討を重

再質問 林議員 万が一、想定を超えた大きな事故が発生したらどうするかを聞いている。訓練をさらに効果的なものにするために、どのようなことを考えているのか。防災危機管理部長 本訓練の主な関係機関で構成する「成田国際空港消防連絡協議会」に、県も構成員となっています。訓練は毎年10月を予定しており、訓練に向けて、関係機関が検討を重

ねて訓練内容を協議してまいります。来年の訓練想定については、主催者や関係機関と相談してまいりたいと考えています。林議員 成田空港には大きな飛行機が頻繁に飛来している。空港における万が一の事故に対する備えを強く要望する。

県政に新風 市民の声を生かします

●県政や成田市のご相談・ご要望はお気軽にどうぞ
〒286-0134 成田市東和田569 なるげや陶器ビル3階D号
TEL.0476-20-0884
FAX.020-4622-9781
Eメール:motohito884@gmail.com

林もとひと 県議事務所

アクティブ・ラーニング

積極的に授業へ導入を

一方通行の学習から脱却



再質問を行う
林幹人県議

でもらう。やり取りの中で答えが導き出されるというプロセスが重要な学びの方法だ。

文部科学省も注目してい

林議員 アクティブ・ラーニング、直訳すると積極的、活動的な学びということになる。言ってみれば旧来の先生が一方的に話し、生徒が一方的に聞くだけの授業、これが今までの授業だが、これと反対側にあるのがアクティブ・ラーニングということになる。

子どもたちをいくつかのグループに分けて課題を与える。そしてそれぞれのグループの中で答えを導きだし

を1校ずつ指定し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の実践研究を進めるとともに、その成果を踏まえつつ、県総合教育センターにおいてアクティブ・

修のさらなる充実に努めるとともに、来年度、新たにセミナーを開催し、具体的な実践例を紹介し合う場を設けるなど、アクティブ・ラーニングの視点からの授業改

ラーニングに関する研修を実施していただきます。

林議員 子どもたちには、これまでのように点数だけとればいいというだけでは、厳しい社会を生き抜いていけない。アクティブ・ラーニングは、子どもたちがみんなで協力することが前提となっているが、

中学校、高校と進学すると、友達が受験のライバルになり、横の連携がとりにくくなっていくのではないかと

入れながらアクティブ・ラーニングを総合的に進めていただきたい。

フラワーフェスティバル

会場の変更を機に

内容充実図るべき

善の重要な視点であると認識しているところで。現在、県では、国の委嘱事業として、小・中・高等学校

林議員 フラワーフェスティバルは昭和56年にスター

トした非常に歴史があるイベントで、今年で37回目を

数える。県内の生産者が腕によりをかけて育てた花々

観光立県へ体制強化提言

林議員 観光立国を標榜している国は2020年までに4千万人、2030年までに6千万人の観光客を呼ぼうとしており、広く対応できるように2008年に観光庁を設置した。

千葉県はどうか。数年前まで千葉県は商工労働部の中に観光課があるだけだっ

た。平成24年には観光企画課と観光誘致促進課の2課体制に強化されたが、依然として中小企業を中心にした仕事に携わる商工労働部の中に位置している。観光とは非常に広いす野がある。

観光客の受入体制の整備に努めています。観光立県の実現のためには、社会経済情勢の変化に伴い多様化する観光ニーズに対応できるよう、行政と民間事業者の連携・協力の強化も含め、体制の整備に努めてまいります。

千葉県はどうか。数年前まで千葉県は商工労働部の中に観光課があるだけだっ

た。平成24年には観光企画課と観光誘致促進課の2課体制に強化されたが、依然として中小企業を中心にした仕事に携わる商工労働部の中に位置している。観光とは非常に広いす野がある。

観光目線から見た様々な施策が必要になってくる。そこだろうか、観光立

「オール千葉」で観光振興に取り組み、国内外に向けたプロモーション活動の展開や

が飾られ、優秀な作品が表彰される県内最大規模の花のイベント。

しかし、生産者から少々マンネリ化しているのではないかと指摘を受けた。本場のオランダでは花のイベントというともすこいお金をかけているし、ショーアップもされている。花に対する情熱が非常に強い。

わが千葉県の花きの生産は全国2位。花き生産県として恥ずかしくないよう力を入れるべきではないかと思う。表彰ももっとショーアップして行われないか、よりうまくPRできないかという声を生産者から聞く。

そこだろうか、千葉三越の閉店によるフラワーフェスティバルの会場変更に伴い、開催内容の更なる充実を図るべきではないか。

知事 千葉県フラワーフェスティバルは、花き生産者団体や千葉市、県などで組

織する実行委員会により、生産者の栽培技術向上と県産花きの需要拡大を図ることを目的に昭和56年から開催しています。

開催にあたっては、来場者が花と触れ合うことができよう、毎年、実行委員会で開催レイアウトや新たなイベントの実施などについて検討しており、これまで高校生フラワーデザインコンテストやプロの技を体感できる生け花の実演、更には来場者の投票で決定するアイデア賞を設けるなど、新たな取り組みを行ってきました。

今後は、東京オリンピック・パラリンピックの開催により、花きの需要拡大が一層見込まれることから、新たな開催会場の検討と合わせ、生産者や来場者の意向を踏まえ、更なる充実を図ってまいります。

林議員 会場が変

林もとひと県議・プロフィール

○略歴○

昭和48年9月	銚子市に生まれる
平成4年3月	銚子市立銚子高校卒業
平成8年3月	玉川大学文学部卒業
平成8年5月	米国ロードアイランド州語学留学
平成10年4月	空港グランドサービス入社
平成12年4月	衆院議員・山崎拓秘書
平成15年4月	衆院議員・林幹雄秘書(成田市担当)
平成19年4月	千葉県議会議員初当選
平成23年4月	千葉県議会議員再選
平成27年4月	千葉県議会議員3選

○現職○

- 県議会 総合企画水道常任委員会委員長
- 自民党 ちば青年局長

林議員 会場が変

だとして、ぜひ予算増額を含めて、フラワーフェスティバルの充実を図っていただきたい。